

笑顔のひろば

とりで障害者協働支援ネットワーク

第90号

1面：第73回定例会報告／第74回定例会開催案内 2面：あいサポート活動／取手市自立支援協議会報告 3面：4面：ネットワーク参加団体からのお知らせ ①取手精神家族会ホットスペース ②チャレンジの広場報告 ③「楽ちん介護」報告 ④「新たな移動手段を考える集い」報告／お礼とお願い／連絡先／会員募集

第73回 定例会報告

1月21日（火）10時より第73回とりで障害者協働支援ネットワーク定例会を開催いたしました。障害福祉課鈴木課長・社会福祉協議会市毛局長にもご出席いただきました。

鈴木課長より、障害者福祉計画の策定についてとあいサポート運動についての報告がありました。あいサポート運動の「あいサポーター研修」基本研修を受けた方（あいサポーター）は364名となったこと、2月1日に一般市民対象の「あいサポーター研修」基本研修を開催するとのことでした。取手市民の方にぜひ受講していただきたいです。

市毛局長より、基幹相談支援センターについて、エアコン購入及び設置にかかる費用の全部又は一部助成事業について、カームダウン・クールダウンスペース設置についての話がありました。エアコン購入及び設置にかかる費用の全部又は一部助成事業は、生活困窮者に対し熱中症による健康被害を予防する観点から行うもので、対象や助成額、申請期間等については、社会福祉協議会のホームページをご覧ください。カームダウン・クールダウンスペースとは、知的障害、発達障害、精神障害のある方等、気分が高揚することに対し、感情を落ち着かせ、静まるスペースで、福祉交流センター1階自販機横に設置されています。交流センターにお越しの際はご覧ください。

そして、ネットワークからの報告をした後、参加した皆さんと情報交換を行いました。

（美田 記）

第74回定例会開催のご案内

ネットワーク会員・市担当部・社会福祉協議会・市議会議員・民生委員・その他関係機関の皆様のご出席をお願いします。会員以外の障害者支援団体・個人の方もお気軽にご参加ください。定例会は、4月、7月、10月、1月に開催します。

- 日 時 2025年（令和7年）4月 15日（火）10:00～12:00
- 場 所 取手市福祉交流センター 多目的ホール
- 議 題 行政からの報告／ネットワークからの報告／情報交換 その他

あいサポート運動について

《あいサポーター研修》

2月1日に開催されたあいサポーター研修には7名の受講者が参加されました。参加された方がSNSで感想をアップされておりましたので、ご本人の許可をいただき一部ご紹介させていただきます。



『障害は視覚、聴覚、言語、盲ろう、肢体不自由、内部、重病心身、知的、発達、精神、依存、てんかん、高次脳機能、難病と14の障害があります。私もまだまだ分からないことばかりですが、まずは知ることによって街で見かけたときに手助け出来るようになりたいなと思いますし、知ろうとする人がどんどん多くなっていくことによって障害を抱えても自分らしく生きていくことが出来ると思います。今回の研修では鳥取県が制作された14の障害についての紹介映像を見ました。涙が出そうでした。理由は、その映像で紹介されている方々がみんな、自分らしく生きようと輝いていたからです。広報とりでなどで定期的開催案内がされると思いますので、是非とも受講していただけたらなと思います！また、会社や地域団体などある程度のまとまった参加者を確保することができる場合、出張講座も可能だとのことですので、各ボランティア団体の代表の皆さま、是非ともご検討をよろしくお願いいたします。』

上記の感想の中で14の障害についての紹介映像を見て、自分らしく生きようと輝いていた姿に涙が出そうでした。とありましたが、その感想にこちらも涙が出そうになりました。今回は少ない参加者でしたが回を重ねて多くの市民の皆さんにあいサポーターになっていただきたいです。

(阿部 記)

取手市自立支援協議会の活動

各部会の活動は前号の通り継続です。

協議会の重点活動は厚労省が進めている地域生活支援拠点事業を早急に構築することです。

地域生活支援拠点事業とは、障害のある方々が地域社会の中で自立した生活を送るための重要な仕組みです。

そのうち、緊急時の受け入れは市の事業として居室確保事業を始めて登録事業所が数ヶ所できました。

これからは施設や病院から出て地域移行する際に自立するための体験できる事業を進めます。しかし、全国的にもこの事業は進んでいなくて困難であることは間違いありません。まずは生活支援部会で話し合っってルール作りを始めることになりました。

(宮脇 記)

ネットワーク参加団体・会員からのお知らせ

《取手精神福祉家族会ホットスペース》

「精神疾患の理解促進、啓発について」

ホットスペースの活動は、「支え合い」、「働きかけ」、「学び合い」を基軸としています。「働きかけ」の一環として、取手市教育委員会（教育長、他2名）と面談による精神疾患の理解促進、啓発に関する意見交換会を1月23日に行いました。

ホットスペースからは、統合失調症やうつ病などの精神疾患は、小学校5、6年生や中学生のユース時代に発症する事もあり、精神疾患も他の病気と同じ様に、早期発見、早期治療により早期回復が見込める。そのために、必要な知識（気づき）を持って頂き、何かおかしいな、と感じたら相談をして欲しい、併せて相談する先を教えてあげて、対応することができる仕組みを子ども一人一人にしっかりと伝えて欲しい。また、親や兄弟が精神疾患になっている子ども達、ヤングケアラーにも配慮した対応が必要と考える、その様な環境に居る子どもが縮じこまっていないか、我慢していないか、その様な子どもを発見して、対策を講じて欲しい、と伝えました。

教育委員会が話された事は、SDGsで心の健康への対策や福祉も進める。チーム指導や全員担任制をとっており、目こぼれのないようにしている。養護教員、相談員やスクールカウンセラーを配置して相談し易い環境を整えている。ソーシャルワーカーも活用している。市の教育総合支援センターでは、精神的な悩みに関する事について、相談された児童生徒や保護者の心のケアを行っている。メンタルヘルスに関する「こころのサイン、心配な症状」等の情報は、すでに機会を捉えて子ども達へ配布している。万が一、子どもが精神的な病やストレスに負けそうな状態になった場合は、教育サイド、医療サイド、家族が連携した体制が取れる様にしている、との事でした。

将来のある子どもたちが、こころの病やメンタルヘルスの不調に負けることなく、いきいきと健やかに育って欲しい、と心から願っています。（藤巻 記）

《チャレンジの広場》

2月16日(日)に今年度最後のチャレンジの広場を開催しました。参加人数は17名でした。参加していただいた皆さんお疲れ様でした。競技内容はボッチャとゴボというゴルフとボッチャを組み合わせた競技を行いました。

ボッチャはいかにチームで点数をとるか、皆さん戦略を考えながら行っていました。

後半のゴボではボッチャの審判のうちわをゴルフのカップに見立て、パースリーとパーフォーの2コースを作り行いました。みんなパースリーのほうを多く選んでいました。面白さの中にも難しさがありました。今回のチャレンジの広場は頭と身体を使ったいい全身運動になりました。



（勝山 記）

《NPO法人 活きる》

楽ちん介護 1月19日(日)

令和7年最初の楽ちん介護は1名の参加で人数的には少なかったがその方にあった指導を行えた。

時間が余ったのでその方の介護生活のお話をよく聞いて共感することができ、中身の濃い内容となった。
(宮脇 記)

《新たな移動手段を考える集い》

令和7年2月15日



取手も高齢化が進み、公共交通機関の不便さもあり相乗的に移動環境が問題になっています。移動環境の改善を目的に令和6年7月に新移動手段検討会を立ち上げ市内の有識者に集まってもらって意見を交わし続け、その結果をまとめて市に提言書を提出し、今回の講演会の開催に至りました。講演会はかなり偏った内容なのでどれくらい人が集まるか不安でしたが、なんと定員80人のところ92人も来場してくれました。はじめに伊藤副市長からご挨拶とこの講演会の意義を話してくださいました。そして市の現状を知ってもらうために公共交通を司っている都市整備部から市内の交通事情を話してもらいました。そして福祉部からは高齢化による移動の不便さをデータを下理解してもらいました。次に中央タウンで活躍されている上原さんが計画している移動支援について語っていただきました。休憩を挟んで本日の趣旨である新たな移動手段について全国移動サービスネットワーク事務局長の伊藤みどりさんから非常に有意義な内容の講話をいただきました。移動支援の大事さ、移動手段のシステムのいろいろ、複雑な手続きは必要のないシステムの構築や全国の事例を交えて、とてもとても深くそしてわかりやすい語りで約1時間会場の皆さんの心に訴えられたと思います。今日の講演まで多くの方に関わっていただき、まずはスタート地点にたどり着けたことに感謝します。そして、取手市の移動環境が改善されるように官民一体となって話し合いを続けたいと思っています。

(宮脇 記)

お礼と お願い

令和6年度は事業計画に基づいて進められました。これも皆様方のご支援とご協力があった成果となります。心より感謝申し上げます。令和7年度も「とりで障害者協働支援ネットワーク」活動にご理解を頂きましてご支援とご協力を心よりお待ちしております。会費納入よろしくお願い申し上げます。

(会計担当 武藤 記)

とりで障害者協働支援ネットワーク会報
「笑顔のひろば」第90号

□発行：2025年(令和7年)3月 1日

□発行所：とりで障害者協働支援ネットワーク

□発行者：染野和成

□編集者：鈴木澄利 ネットワーク編集員

□連絡先：取手市本郷5-4-21

E-mail: toride.ssknet@gmail.com

HP: <http://ss192693.stars.ne.jp/index.htm>

《会員募集》

ネットワークの趣旨に賛同する皆様の参加、ご協力をお願いします。随時入会を受け入れておりますのでお申し出ください。

寄付金についてもよろしくお願いします。

○会費(年額)

(1)正会員 団体1口 1,000円 1口以上
個人1口 500円 1口以上

(2)賛助会員(団体・個人)
1口 1,000円 1口以上

■会費・賛助会費・寄付金の振込先■

口座番号 常陽銀行 取手支店

普通 1887469

口座名義 障害者協働支援ネットワーク

代表 染野 和成